

令和3年度 第1回大豆島公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和3年6月2日（水） 午後1時30分から3時まで
- 2 場 所 大豆島公民館 多目的ホール
- 3 出席者 岡田 保穂 （大豆島地区住民自治協議会会長）
正村 寿満子（公募委員）
田原 克彦 （市立大豆島小学校校長）
西沢 節 （学識経験者）
広瀬 一雄 （大豆島地区民生委員児童委員協議会会長）
山岸 篤 （大豆島公民館副館長）
山崎 ひろ子（大豆島地区赤十字奉仕団委員長）
高池 一昭 （市立大豆島公民館館長）
白石 洋一 （市立大豆島公民館専門員）
（小池委員、西澤委員は欠席）

4 審議事項

- (1) 令和3年度大豆島公民館事業計画について
- (2) その他

5 審議内容

長野市立公民館条例第15条の規定により、委員の過半数の出席を満たしており審議会は成立していることを報告して開会した。

- (1) 令和3年度大豆島公民館事業計画について

事務局 （令和3年度大豆島公民館事業計画について事務局から説明）
（委員から質問なし）

- (2) その他

事務局 （これまでの運営審議会でも報告してきた「大豆島公民館の今後のあり方検討委員会」「交流センターについて」「民法改正に伴う成人式の対象年齢」について事務局からあらためて報告。）

委員 長野市が成人式の対象年齢を「現行どおり」とした理由は？

事務局 長野市教育委員会家庭・地域学びの課では平成30年9月から「成人式検討会議」（令和元年9月の第5回検討会議を最後に休会）を設置して対象年齢を検討してきた。検討会議では「18歳では大学受験と時期が重なるため、よろしくないのでは」や「成年に達した男女青年の新しい門出を祝福するという趣旨からすると、18歳ではまだ精神的に成熟していないのでは」「恩師や旧友との再会や、お互いの成長した姿を見せ合う楽しみも無くなる」というような意見があった。

また、各地区住民自治協議会、市PTA連合会、新成人を対象に家庭・地域学びの課がアンケート調査を実施したことは承知しているが、最終的にどういう判断で「現行どおり」という結論に達したのかは公民館には周知されていない。

委員 大豆島公民館では、全5回の検討委員会で交流センターには移行しないことを決定したとあるが、地域の特産物や野菜の物品販売ができることで地域振興につながるというメリットもあるので引き続き検討されてはいかがか。また、地区内にあるスポーツ施設（群馬県の事業所による指定管理者制度で運営）の館長から「地元とのつながりが出てきてうれしい。地元のイベントへの協力もしていきたい」と言っているなのでこの場でお伝えしたい。

事務局 導入しないことを決定したのは指定管理者制度である。交流センター化については「市の3年間のモデル試行の動向を見て検討する」としている。

委員 成人式について、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催することは理解できたが、式典後の参加者の行動が心配である。式典後に参加者が飲み会を行って集団感染が発生したと報じたニュースもあったが、大豆島公民館では対策を考えているのか。

事務局 前年度の成人式は延期となったが、参加者に対して式典後の行動を慎むように周知する予定であった。今年度も参加者に対して周知することで、式典後の感染を防止する予定である。